

PROGRAM

初期研修プログラムの紹介

国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター

院内で全ての必須研修が可能。
アカデミックな基盤も獲得できます

呉医療センター・中国がんセンター 臨床研修センター部長・産婦人科科長 水之江 知哉



呉医療センター・中国がんセンターの 初期臨床研修について——

呉医療センター・中国がんセンターは700床の呉医療圏における基幹病院であり、1次から3次救急まで年間3,000件以上の救急車搬送、8,000件以上のウォークインを受け入れています。

精神科、小児科、産婦人科といった、初期研修の選択必修科が全て揃っており、外病院に行かずとも当院のなかでローテートできるのが特徴です。かつ、「がんセンター」としての機能をもっており、幅広い分野の医療をバランスよく研修することができます。



あらゆる診療科において高レベルの診療を提供しており、各科・各分野で現在どんなことが問題なのか、どんな勉強が必要なのかなど、いろんな診療科を実際に経験した上で自分に最適な専門科を決めることができます。

各科の垣根は低く、連携によるサポートもしっかりしているため、何かあれば電話対応で直ぐに相談や専門治療に移行できるなど、不安なく研修に臨むことができます。

初期研修医が自ら経験した症例を発表する臨床研究会「呉クリニカルフォーラム」(通称:呉クリ)が年3回あるなどアカデミックな修練ができることも特徴です。スライドの作り方や伝える力なども学び、それを何度も繰り返すことで、レベルの高いプレゼンテーションができるようになり、さらにそれをブラッシュアップすることで学会発表において優れた

評価を得ることができます。

初期研修2年目には、一年間でこれほど変わるのかというほど自分自身の成長に驚くと思います。

プログラムの特徴について——

内科24週以上、救急12週以上、外科、小児科、産婦人科、精神科、地域医療、一般外来は4週以上が必須です。

必修以外の期間は、将来専門とする診療科を中心に関連の診療科で研修するなど、研修期間も柔軟に決定できます。また、教育体制は上級医のもとで診察法や検査手技など、基本的な臨床技能の指導を受け診療する屋根瓦方式を採用しています。当院は三次救命救急施設であり、救急研修はローテート科と平行し、2年間を通して研修を行います。救急研修は、当プログラムにおいてベースとなる救急医療とプライマリ・ケア修得の場となっています。



国立病院機構
呉医療センター・
中国がんセンター

住所 〒737-0023 広島県呉市青山町3-1
WEB <https://kure.hosp.go.jp/>

病床数 **700**床 診療科数 **37**科

呉医療センター・ 中国がんセンターの特徴

救急研修は2年間を通して、それぞれローテート科と平行して研修を行います。救急部での救急車対応や、週半日のウォークイン患者対応など、実務研修を多く取り入れ、上級医の指導のもとに Advanced Cardiac Life Support (ACLS) が自ら実践できることを最低限の目標としています。



PROFILE

出身地: 福岡県
出身大学: 広島大学(1984年卒)
宝物: 仲間
座右の銘: 微笑誠心

読者へのメッセージ——

研修医として経験をしていくなかで判断が間違ふこともあるでしょう。失敗は誰もが通る道です。大切なのは、失敗を検証し、そこで得たものをしっかり自分のものにしていくことです。また、困難にぶつかったときや、失敗したことを仲間と共有することも大切です。みんながそれぞれの失敗を共有することで、たくさんのことを吸収することができ、多くのことを理解できるようになります。

当院の初期研修の合言葉“GO BEYOND”(自分を超越る)の精神を胸に、将来の道を自分で切り拓いていく強い想いと、こんな医師になりたいという志をもって研修に励んでください。当院は一人ひとりの想いと志に全力で応えています。

VOICE × 初期研修医・専攻医・上級医

総合的な診療力を習得。
誰にとっても最適な研修が可能

初期研修医 1 年目 **谷口 峻**

当院には精神科があるため、不定愁訴や多疾患併存の患者さんを多く診ることができ、各科と連携して治療するなど総合的な診療を学べますし、病棟や医局に行き各科の先生方に気軽に質問できたり、「今からこういう症例をするよ」と連絡をくださるなど、積極的に学べる環境が魅力です。

全診療科が揃っており、どの科でも質の高い医療を提供しているため、進路に迷っている方、決まっている方にも最適な研修ができます。



PROFILE

出身地：広島県
出身大学：広島大学(2021年卒)
宝物：家族、友人
座右の銘：先ず隼より始めよ

自ら“考える”診療ができ、
着実に成長できる研修環境です

初期研修医 1 年目 **奈良井 清夏**

病院見学で、研修1年目の先生方が救急外来で自ら動いている姿を見て当院を研修先に決めました。

救急や当直でのファーストタッチにより状態の判断ができるようになりましたし、上の先生方は一方的な指示ではなく、研修医の考えを聞きながら答えに導くような指導で、知識や技術を確実に習得できます。「呉クリニカルフォーラム」など症例発表の機会も多くあり、臨床、アカデミック共に早期から実践的経験を積むことができます。



PROFILE

出身地：広島県
出身大学：広島大学(2021年卒)
宝物：家族、友人、経験
座右の銘：七転び八起き

サポート体制が抜群で
積極的に挑戦できます

初期研修医 2 年目 **黒田 悠日**

各科の垣根は低いですし、看護師さんも優しく、女性の先生が多いなど仕事のしやすさも魅力です。常に先生方や多職種のみなさんが見守ってくださり、失敗もすぐにリカバリーされるため安心して研修に臨めます。1年もすれば一人で対応できるようになり、後輩に教える力も獲得できるはずです。

やりたい医療に全力でサポートしてくださるなど、研修医の要望に真剣に耳を傾けてくださる環境のなか、どんどん挑戦できることも魅力です。



PROFILE

出身地：広島県
出身大学：産業医科大学(2020年卒)
宝物：家族
座右の銘：失敗は成功のもと

臨床とアカデミック、両方の
修練を積むことができます

初期研修医 2 年目 **奥崎 体**

「呉クリニカルフォーラム」では発表だけではなく、質疑応答の経験ができますし、積極的に論文を執筆し、院内の研究施設で基礎研究をされている先生もいるなど、臨床をしながらアカデミックな修練が積めることも当院の強みです。

外病院に行かなくとも院内で全科研修できるため、研修プログラムも自由に組み立てることができます。いろんな科を経験できるため、3年目以降、本当にやりたい医療が見つかる病院です。



PROFILE

出身地：広島県
出身大学：広島大学(2020年卒)
宝物：チェロ
座右の銘：明日は明日の風が吹く

初心を忘れず日々精進。
描く医師像につながる病院です

初期研修医 2 年目 **加藤 尚宏**

3次救急を担う地域の拠点病院として診療科が豊富に揃っていて、様々な症例や手技を経験できること。また、各専門科の医師に直接指導をいただける環境が他の病院と比較してもストロングポイントだと感じ当院を研修先を選びました。

2年目の研修では自由にスケジュールを組めるので、今後の専門科を選択するうえで様々な診療科を回りたい人にはおすすめの研修環境です。

自分が思い描く医師像、将来への目標に向けて研鑽するには当院は間違いのない環境だと思います。



PROFILE

出身地：広島県
出身大学：山口大学(2020年卒)
宝物：犬
座右の銘：初心忘るべからず

充実の教育体制だけではなく、
働きやすさも大きな魅力

専攻医：消化器内科 **和田 薫**

屋根瓦式の指導が受けられ、わからないことがそのままにはならず、また全科が揃っているためフィードバックも直ぐに返ってきます。研修科目は週単位で選ぶことができ、救急外来は週に一回は担当するなど、充実の教育体制が魅力です。

さらに、全国のNHOの病院で行われる「良質な医師を育てる研修」や、海外姉妹病院での臨床交流、国際学会での発表など、院外で学ぶ機会もたくさん用意されています。

研修医室も完備され、女性医師も多く、患者さんは研修医に協力的など働きやすさも大きな魅力です。



PROFILE

出身地：広島県
出身大学：広島大学(2017年卒)
宝物：家族
座右の銘：足るを知る者は富み、強めて行なう者は志有

1 年後、大きく成長した
自分に出会うことができます

専攻医：消化器外科 **山口 真治**

全科揃った3次救急病院であり、院内の雰囲気も良く、呉の人は優しく研修医に協力的であるなど研修環境として申し分ない病院です。どの診療科もバックアップ体制が整っており、早期から実践的な経験を積めるため1年後には大きく成長した自分に出会うことができ、2年後にはどんな患者さんにも対応できるスキルを獲得できるでしょう。

同期だけではなく上級医との関係も非常に良好で、コロナ禍以前は飲み会や旅行をしたり、一緒に手術動画を診ながら教えてもらうなど、有意義で楽しい研修生活を送ることができます。



PROFILE

出身地：広島県
出身大学：信州大学(2019年卒)
宝物：患者さんからの手紙
座右の銘：いつも丁寧に

当院での初期研修の経験が、
キャリアを大きく支えます

呼吸器内科(卒後11年目) **荒木 佑亮**

研修医がファーストタッチを行うため、いつの間にか検査や処置のプランニングができるようになり、どんな症例でも自ら動けるようになります。全科揃った環境のなか、求めるだけ多くの症例を経験でき、さらに外来、病棟、退院後の経過まで一貫して診ることができるなど、私自身、当院での初期研修を貯金にここまでやってこれたと感じるほど、濃密な経験と学びを得ることができます。

教育環境は抜群で、専攻医として残る先生も多くいます。当院でなら3年目以降のキャリアをしっかりと支える後悔しない研修ができるはずです。



PROFILE

出身地：大阪府
出身大学：広島大学(2011年卒)
宝物：友人
座右の銘：人に勝つより自分に勝て